

工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

考查項目	細別	a	b	c	d	e
2.施工状況	I.施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない場合	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
		「□：評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 建設工事請負基準約款第19条第1項(1)から(5)に基づく設計図書の照査を確認できる。 ・ 土木工事標準仕様書第1編第1章総則に記された設計図書の照査等が実施されている。また、設計図書の照査等の結果をその不都合に関わらず、書面で監督員に提出し確認を求めている。(文書で整理されている。) ※ ・ 土木工事標準仕様書第1編第1章総則に記された工事測量が実施されている。また、設計図書の工事測量の結果をその不都合に関わらず、書面で監督員に提出し確認を求めている。(文書で整理されている。) <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、その記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 ・ 施工計画書に所定の項目が記載され、契約後概ね1ヶ月以内に提出されている。 または1ヶ月以内に提出しない(できない)理由を書面に監督員と協議(あるいは報告)し、その後現地着手前にすみやかに提出している。 ・ 設計図書の条件明示を反映した施工計画書になっている。 ・ 施工計画が現場状況(地形、地質、周辺環境、交通量等)を反映した具体的な内容となっている。 ・ 安全対策が具体的・的確に記載され、実施されている。 ・ 施工計画書に変更が生じた場合、当該工事の着手前に変更計画書が監督員に提出されている。 <input type="checkbox"/> 現場代理人、作業主任者等の作業分担と責任の範囲が書面で確認できる ・ K Y日誌で現場代理人の常駐状況が確認できるとともに、朝礼時において作業体制を的確に把握できる。 ・ 施工計画書の現場組織表で、現場責任者が明記されている。 ・ 施工計画書の安全管理組織表で、下請けも含め安全衛生責任者、作業主任者等が明記されている。 <input type="checkbox"/> 下請に関する手続き等が適切に行われ施工されていることが確認できる。 ・ 施工体制台帳及び施工体系図が作成され、工事現場に備えるとともに、監督員に提出されている。 ・ 施工体制台帳の記載事項は適正に記入されており、添付が必要な書類も全て提出されている。 ・ 施工体系図は、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲示されている。 ・ 下請負人が再下請を行う場合に再下請通知書を元請負人に提出する旨の掲示を行っている。 ・ 施工体制台帳及び施工体系図に変更が生じた場合、その都度、監督員に提出されている。 ※ ・ 下請けに対する引き取り(完成)検査を実施していることが確認できる。 ※ ・ 下請けに対する当初契約・変更契約が適切になされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 立会確認の手続きが事前になされている。 ・ 立会確認が適切に実施されたことが書面で確認できる。 ※ ・ 段階確認について、監督要綱及び監督技術基準により、事前に段階確認願(種別、細別、施工予定時期等)が書面で監督員に提出されている。 ※ ・ 段階確認が適切に実施され、工程表と整合する。 ※ ・ 臨時検査が適切に実施され、工程表と整合する。			<input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない箇所があり、文書により手直し指示を行った。 <input type="checkbox"/> 契約図書に基づき施工上の義務につき、検査員から文書により指示を行った。 上記1項目該当事項あれば…………… d 2項目以上該当すれば…………… e	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2.施工状況	I.施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない場合	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
		<p>「□：評価対象項目」</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料（質）のチェック、材料の保管、事前の対応、品質を保つための現場条件、品質を保つための方策の徹底、事後の対応、出来形に評価される品質の各々の時点における工夫が書面で確認できる。 <small>（「別紙6①、別紙6②工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況」の提出が必要。新潟県コンクリート品質確保ガイドライン（案）に基づく取組を達成したもの、ガイドライン（案）適用範囲外構造物でも加点対象構造物で達成条件を満たしているもの（令和3年6月23日技第1021号）。または加点対象構造物で達成条件(4)の3帳票の提出があったものも可とする。</small> □ 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ コリンス登録が適正に行われている。 ・ 工事記録等（提示資料は現場で使用したものそのままを提示すれば良いことから対象外）が目的別にインデックス等で分かりやすく整備されて、その整備資料全体がわかるように、総括表でまとまっている。 ・ 工事書類簡素化の趣旨に則り、必要とされる書類が簡潔にまとめられている。 <small>（提示書類と提出書類がきちんと区別整理され、工事書類作成マニュアル記載資料以外の提出がない。）</small> ・ 法的な手続き等が必要なものに提出の漏れがない。（休日・祝日作業、道路使用、労働基準監督署、消防本部などへの提出書類など、整備資料でチェックする。） ※ ・ キャリブレーションの必要な機器は、その成績結果表が添付されている。 ※ ・ 計算式等で算出根拠を説明するものがある場合、図表等を利用しわかりやすく整理されている。 <small>（例、薬注の注入量等、該当がない場合は、項目削除）</small> ・ 写真の撮影箇所に略図等が添付され、把握しやすく見やすく整理されている。 ・ 説明のスムーズさから資料の整理、把握の良さがうかがえる。 <ul style="list-style-type: none"> □ 建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが適切になされている。 <ul style="list-style-type: none"> ※ ・ マニフェストが整理され、所要の数量と整合する。 ※ ・ 施工計画書に再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画書が当初から添付されている。 ※ ・ 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画書（実施書）が添付されており、数量が確認できる。 ※ ・ 建設副産物の最終処分地又は中間処理地が当初から計画されている。 ※ ・ 産業廃棄物の処分について、委託が収集運搬業許可及び処分業許可を受けた会社と契約されている。 ※ ・ 速やかに「再資源化等の完了報告書」が提出されている。 □ 建退共の証紙が適切に配布され管理されている。（中小企業退職金共済制度加入者は、これに読み替える。） <ul style="list-style-type: none"> ・ 建退共制度等に加入している。 ・ 建設業退職者共済証紙購入状況報告書を工事完成時に提出している。 ・ 建設業退職金共済制度適用事業主工事現場であることが表示されている。 □ 社内の管理基準等が作成され管理している。 <ul style="list-style-type: none"> ※ ・ 管理基準がない工種について、独自の管理基準を設定し管理していることが確認できる。 ・ 社内管理基準（目標）を設定するとともに、その運用方法（目標をオーバーした場合の検討体制や検討プロセス等の具体的な対処法など）を定め、管理されている。 ・ その管理基準により、社内検査（書類検査）が完了していることが書面で確認できる。 ・ その管理基準により、社内検査（現場検査）が完了していることが書面で確認できる。 				

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

審査項目	細別	a	b	c	d	e			
2.施工状況	I.施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない場合	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である			
		<p>「□：評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。(3億円以上の工事及び予算執行職員等が必要と認める工事)</p> <p>※ ・ 品質証明員届が提出されている。</p> <p>※ ・ 品質証明員の資格は、一級土木施工管理技士又は技術士である。</p> <p>※ ・ 品質証明員の現場経験が10年以上である。</p> <p>※ ・ 適切な時期に現場の施工実態の確認を実施している。</p> <p>※ ・ 検査前に工事関係書類等の事前確認を実施している。</p> <p>※ ・ 品質証明書の書式が指定されたもので、証明者の押印及び受注者の社印がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事材料の品質を確保していることが確認できる。</p> <p>・ 工事材料の品質保証等が適切に整理されている。</p> <p>・ JISマーク表示商品については、JISマーク表示状態の確認ができる。</p> <p>・ 工事材料の品質に影響が無いよう保管している。</p> <p>・ 指定材料について、材料承認願いが事前に提出されている。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>確認項目(小項目)の2/3以上が該当する場合に、評価項目(大項目)を☑とする。</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上…………… a</p> <p>評価値が80%以上～90%未満…… b</p> <p>評価値が60%以上～80%未満…… c</p> <p>評価値が60%未満…………… d</p> <p>※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価方法】</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち評価対象外の項目は削除する。☐——●●●●</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率で評価する。</p> <p style="text-align: center;"> 評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{\text{○}}{\text{○}} * 100 = \text{□} \%$ </p> <div style="margin-left: auto; margin-right: 0;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">評価値</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"> </td> </tr> </table> </div> </div>				評価値			
評価値									

工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。 ※ばらつき判定については別紙4を確認する。

(検査員)

考查項目	a	a'	b	b'	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ I ・ 出来形	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われおり、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で下記の「評価対象項目」4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われおり、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で下記の「評価対象項目」3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われおり、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で下記の「評価対象項目」3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われおり、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で下記の「評価対象項目」2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a～b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 測量機器の検定証明書は提出不要であるが、認定期間切れの測量機器を使用した工事等、著しく出来形管理に問題があると認められる工事は「d」評価とする </div>	
	<input type="checkbox"/> 評価対象項目					<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が改善指示を行い改善された。 上記項目に該当あれば………d	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が文書で修補（手直し）指示を行った。 上記項目に該当あれば………e
	<input type="checkbox"/> 出来形管理図及び出来形管理表に創意工夫がある。 <ul style="list-style-type: none"> 測定表に出来形寸法を測定した箇所の略図等が掲載されている。 管理表による傾向、課題等が一目で判断できる。 						
	<input type="checkbox"/> 出来形測定において不可視部分が写真で的確に判断できる。 <ul style="list-style-type: none"> 不可視部分の出来形寸法が確認できる写真が撮影されている。（監督員等が臨場した箇所を除く） 						
	<input checked="" type="checkbox"/> 完成写真等に、不可視部分の参考写真が添付されている。（竣工写真では工事内容が分かりにくい場合、不可視部分の参考写真が添付されている。）						
	<input type="checkbox"/> 社内の管理基準等が作成され管理している。 <ul style="list-style-type: none"> 管理基準のない工種について、独自の管理基準を設定し管理していることが確認できる。 社内管理基準（目標）を設定するとともに、その運用方法（目標をオーバーした場合の検討体制や検討プロセス等の具体的な対処法など）を定め、管理されている。 その管理基準により、社内検査（書類検査）が完了していることが書面で確認できる。 その管理基準により、社内検査（現場検査）が完了していることが書面で確認できる。 					※別紙3①②と同じ	
	<input checked="" type="checkbox"/> 写真撮影要領の撮影項目、時期、頻度を満足している。 <ul style="list-style-type: none"> 写真管理基準にないものは、社内管理の撮影工種、項目、頻度、箇所などについて、当該工事に即して施工計画書に具体的な記述が補足されている。 写真管理基準の撮影頻度（時期）に基づき、撮影していることが確認できる。 工事写真帳は写真管理基準に基づき作成されている。 起終点の表示が写真上で明示され、着手前と完成時が比較できる。 						
	<input type="checkbox"/> その他（ ）						
	確認項目（小項目）の2/3以上が該当する場合に、評価項目（大項目）を☑とする。						
	① 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。					<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価値</div>	
	② 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。						
	③ 出来形管理項目を設定していない工事は、「c」とする。						

工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ II 品質	コンクリート 構造物工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価値から判断する。〈判断基準参照〉 (関連基準, 土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] 【共通】【無筋】 <ul style="list-style-type: none"> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。(JISA-5308以外の生コンを使用する場合) コンクリート打込み時の必要な供試体を採取し、強度、スランプ・空気量等が確認できる。(II) 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打込み時の投入高さ、パイプレーターによる締固、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) 型枠、支保工の組立が適正で、コンクリート打設後、取り外し時期がコンクリート強度等で適正に管理されている。 コンクリートの打ち直しや補修の痕跡がない。 コンクリート打込み時に雨水やわき水が適切に処理されている。 コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場のものであることが確認できる。 コンクリート打込み前に打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 型枠の目違いがなく、型枠の破片等がコンクリート表面になく、丁寧な仕上がりが確認できる。 目地に挟む目地板や止水板等の設置が適切である。 コンクリート及びセメントコンクリート製品の使用にあたりアルカリ骨材反応抑制対策の適合を確認している。(高炉B種・C種のセメントを使用したコンクリートを除く。) コンクリート打込み前に、単位水量試験または水セメント比試験を実施している。(平成26年8月19日付技第1019号) 非破壊試験による配筋状態及びかぶり測定を行っている。(平成31年2月15日付技第1035号) ひび割れ発生状況調査を実施している。(土木コンクリート構造物の品質確保における品質確認調査方法、適用範囲1) ひび割れ有無の調査を実施し報告している。(土木コンクリート構造物の品質確保における品質確認調査方法、適用範囲2) 有害なクラックが無い。 新潟県コンクリート品質確保ガイドライン(案)に基づく取組を達成した。(加対象構造物以外は項目削除) 【鉄筋】 <ul style="list-style-type: none"> コンクリート打込みまでの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 鉄筋圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 鉄筋の規格・引張強度・曲げ強度の試験値をミルシート等で確認できる。 鉄筋の重ね合わせ長が、設計図書どおりであることが確認できる。 ※ 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ※ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。
							上記該当あれば・・・d	上記該当あれば・・・e
							評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{0}{0} * 100$ = <input type="text"/> % 評価値 <input type="text"/>	

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい	
	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

考査項目	工種	a	b	c	d	e				
Ⅲ 出来ばえ	コンクリート 構造物工事	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		<input type="checkbox"/> 他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。					
		<ul style="list-style-type: none"> ・ コンクリート構造物の肌が良い。 ・ コンクリート構造物の通りが良い。 ・ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 ・ クラックがない。 ・ 漏水がない。 ・ 全体的な美観が良い。 		※該当5項目以上・・・ a 該当4項目以上・・・ b 該当3項目以上・・・ c 該当2項目以下・・・ d			<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px;">評価項目数</td> <td style="padding: 2px;">評価値</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table>	評価項目数	評価値	
評価項目数	評価値									

工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表

(検査員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	コンクリート二次製品 構造物工事 ・U型 ・L型 ・ブロック積擁壁 ・ボックスカルパート等	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価値から判断する。(判断基準参照) 【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		【評価対象項目】 【共通】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料の品質規定証明書が整備されている。 ・ JIS規格外品について、仕様書の規定する規格、品質を満足している。 ・ 基礎地盤の整形、清掃、湧水処理等が適切に実施されていることが確認できる。 ・ 二次製品の保管、吊り込み、挿え付け等に十分注意を払っていることが確認できる。 ・ 土留め、ウェルポイント等の仮設が設計図書に基づき適切に施工・管理されていることが確認できる。 ・ 二次製品の受取りを現場代理人などの責任のある者が、製品を確認して受取り、損傷等の無いもので施工されている。 ・ 施工基面は、平滑で所定の強度が確保されている。(据付け後に不等沈下で波打っていないこと) ・ JIS製品について、JISマーク表示が写真で確認できる。 ・ 設置後の製品に有害なクラックや損傷が無い。 【擁壁類】(補強土壁擁壁は除く) <ul style="list-style-type: none"> ・ 胴込コンクリート、裏込材の充填が十分で空隙が生じていない。 ・ 基礎コンクリート及び天端等の調整コンクリートにクラック等の欠陥がない。 ・ 材料の連結またはかみ合わせが適切である。 ・ 端部における地山とのすりつけが適切である。 ・ 法勾配、裏込め材の厚さの確保のため細心の注意をはらっている。 【用排水施設】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 位置、方向、高さ、勾配等について前後の施設又は地形になじみよく施工されている。 ・ 不等沈下防止に配慮して、基礎地盤の締固めが特に入念に行われている。 ・ 呑口、吐口、集水柵等の取り付けコンクリートにクラック等の欠陥がない。 ・ 施設の流末は侵食、滞留等が生じないように処理されている。 ・ 不等沈下の発生が無く、基礎コンクリートの亀裂や縦目地からの漏水も見られない。 ・ 縦目地の目地モルタルが適切に施工されている。 ・ 製品周辺の盛土、埋戻し土の施工にあたり、巻出し、転圧が適切に施工されている。 ・ 製品の縦目地には隙間、スレがなく、適切に施工されている。 【管水路】(一部合成樹脂管路も含む) <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心線の通りがよい。 ・ 仕様書で示す条件により締固めが実施されている。 ・ 管の両端が均等に埋め戻されていることが確認できる。 ・ 地盤面、基礎面に不陸が生じていないことが確認できる。 ・ 管からの漏水がない。 ・ コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。 ・ 合流、分流の接合部では、適切な施工が実施されている。 ・ 水路の流れに支障なく、平坦、勾配に細心の配慮がなされている。 ・ 打継ぎ目の処理が仕様書通りに適正に実施されている。 ※ 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ※ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。
							上記該当あれば・・・d	上記該当あれば・・・e
							評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{0}{0} * 100$ = <input type="text"/> % 評価値 <input type="text"/>	

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超え	
評価値	90%以上	a	a	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

【記入方法】 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

審査項目	工種	a	b	c	d	e			
Ⅲ 出来ばえ	コンクリート二次製品 ・U型 ・L型 ・ブロック積擁壁 ・ボックスカルバート等	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。	<input type="checkbox"/> 他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。					
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 構造物の通りが良い。 ・ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 ・ クラックがない。 ・ 漏水がない。 ・ 全体的な美観が良い。 ・ 小構造物にも細心の注意が払われている。 ・ 材料の連結、かみ合わせがよい。 		※該当6項目以上・・・ a 該当5項目以上・・・ b 該当4項目以上・・・ c 該当3項目以下・・・ d		<table border="1" data-bbox="1509 507 1738 579"> <tr> <td>評価項目数</td> <td>評価値</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	評価項目数	評価値	
評価項目数	評価値								

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ II 品質	土工事 (切土、盛土、築堤等、補強盛土)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価値から判断する。(判断基準参照) 【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] 【共通】 <ul style="list-style-type: none"> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施している。 筋芝又は種子吹付等を適切に行っている。 法面に有害なクラックや損傷がない。 建設発生土が適切に管理されている。 施工基面が平滑で、所定の強度が得られるように仕上がっている。 建設発生土の再利用が積極的に図られ、現場での放置がない。 伐開除根作業が定められた条件を満足していることが確認できる。 【切土・掘削】 <ul style="list-style-type: none"> 置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように、かつ不陸が生じないように施工している。 余掘などによる地盤の強度低下を招かないように施工している。 切取法面において落石等の危険がないようにゆるんだ転石、岩塊等が除去されている。 【盛土・築堤等】 <ul style="list-style-type: none"> 品質管理の基準、そのための施工方法が明確になっている。 良好な施工により、盛土材の品質が設計図書に基づくものとなっている。 段切り等が施工前に適切に行われている。 構造物周辺の締固め等の処理を適正に行っている。 締固めを適切な条件の基で施工している。(巻出し厚が均一で、均等な転圧がされている。) 締固め試験により管理され、適正な品質としている。 CBR試験等を行っている。 施工後の沈下量の測定が適正に実施されている。 土羽工の土質が適正である。 【補強盛土工】 <ul style="list-style-type: none"> 基礎が沈下しないように十分な強度があるかが確認されて作業がされている。 盛土仕上りの状態が変形のない、はらみのない状態で完成している。 補強材の施工にスリ、歪み、はらみ、損傷がないことが確認できる。 盛土の締固めを適切な条件(人力機械別、巻出し厚、敷均し、転圧作業等)で施工されている。 プレキャスト製品・材料等の品質が工場管理資料により適正であることが確認できる。 現場条件に応じた排水対策が施工時を含め、適切に講じられている。 盛土の締固め管理(密度等)が適切に実施されていることが確認できる。 構造物との取り合いがよく、排水処理が適切に実施されている。 ※ 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ※ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。
						上記該当あれば・・・d	上記該当あれば・・・e	$\text{評価値} = \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{0}{0} * 100$ $= \boxed{} \%$ <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 20px; margin: 5px auto; text-align: center;">評価値</div>

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい	
	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

考査項目	工種	a	b	c	d	e				
Ⅲ 出来 ばえ	土工事 (切土、 盛土、 築堤等、 補強盛土)	□ 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		□ 他の事項に該当しない	□ 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。					
		【切土工事】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 規定された勾配が確保されている。 ・ 法面の浮石除去等、表面が適切に施工されている。 ・ 法面勾配の変化部には干渉部を設け、関係構造物との取り合いが適切に施工されている。 ・ 施工面の木根等が確実に施工されている。 ・ 施工面には滞水防止等の処理が適切に行われている。 ・ 関係構造物との取り合いが適切に行われている。 ・ 残土等は適切に処理されている。 		※該当6項目以上・・・a 該当5項目以上・・・b 該当4項目以上・・・c 該当3項目以下・・・d						
		【盛土・築堤工事等】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕上げが良い。 ・ 通りが良い。 ・ 端部処理が良い。 ・ 構造物へのすりつけ等が良い。 ・ 全体的な美観が良い。 		※該当4項目以上・・・a 該当3項目以上・・・b 該当2項目以上・・・c 該当1項目以下・・・d						
		【補強盛土】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 壁面材の割れ、欠けがない。 ・ 基礎上面の平坦性が良い。 ・ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 ・ 壁面材の目違い、段差が少ない。 ・ 構造物の通りが良い。 ・ 全体的な美観が良い。 		※該当5項目以上・・・a 該当4項目以上・・・b 該当3項目以上・・・c 該当2項目以下・・・d						
				<table border="1"> <tr> <td>評価項目数</td> <td>評価値</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table>		評価項目数	評価値			
評価項目数	評価値									

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

【記入方法】該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ Ⅱ 品質	護岸・根固・水制工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価値から判断する。(判断基準参照) 【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		【評価対象項目】 【共通】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工基面が平滑に仕上り、所定の強度が確保されている。(出来上がりが波打っていない) ・ 二次製品の受取りを現場代理人などの責任ある者が、製品を確認し受取り、損傷の無いもので施工されている。 ・ 二次製品規格の現場チェックがされている。 ・ 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 ・ 施工にあたって、床掘箇所湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 ・ ひび割れ有無の調査を実施し報告している。(土木コンクリート構造物の品質確保における品質確認調査方法、適用範囲2) ・ 新潟県コンクリート品質確保ガイドライン(案)に基づく取組を達成した。(加対象構造物以外は項目削除) 【護岸】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 裏込材、胴込めコンクリートが充填または締め固めが充分で、空隙が生じていない。 ・ 緑化ブロック、石積み(張)、法枠、かごマット等で材料のかみ合わせ又は連結が適切で、裏込材の吸い出しの恐れがない。 ・ 護岸工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切である。 ・ 遮水シートが上流側が上がるように所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が適切である。 ・ 植生工で、植生の種類、品質、配合、施工後の養生が適切である。 ・ 矢板の品質がシルシート等で確認できる。 ・ 矢板の打込みは導材を設置し、ふれ、よじれ、倒れがなく、かみ合わせが適切である。 ・ 材料の品質規格証明等が整備されている。 ・ 製品の品質管理が適切に行われ、納入月日が確認できる。 ・ ブロックマットのアンカーピンの配置、打込みが適切になされている。 ・ ブロックマットは、所定の幅で重ねられている。 ・ 丁張りを2重、3重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さ確保のため細心の注意をはらっている。 ・ 鉄線蛇籠工の使用では、詰め石のために籠が変形していないことが確認できる。 ・ 口締め閉じ、鉄線はよくねじれ固く締められている。 ・ 有害なクラックが無い。 【かごマット工】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 吸出し防止材の品質が確保され、護岸の下面に適切に設置されている。 ・ 護岸端部において、流水によるめくれを防止するために、必要に応じて対策を講じているのが確認できる。 ・ 中詰め材は、設計に対して、中詰め石の量が適切であることが確認でき、できるだけ空隙を少なく施工されている。 ・ かごマットの中詰め用ぐり石には、かごの厚さが30cmの場合は5~15cm、かごの厚さが50cmの場合は、15~20cmのもので、網目より大きな天然石または割ぐり石を使用していることが確認できる。 ・ 線材は品質管理試験の確認を行い、網線材の端末は1.5回以上巻き式によって結束し線端末は内面に向け施工されている。 ・ 最上下流端の仕切網の枠線と底網枠線の結合が枠線全部にコイル掛けを行っていることが確認できる。(コイルを色で識別)(多段積タイプ) ・ 外周部は、接続長の全長を連結していることが確認できる。(平張タイプ) 					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。
							上記該当あれば・・・d	上記該当あれば・・・e
<次ページに続く>								

3.出来形
及び
出来ばえ

Ⅱ
品
質

護岸・根固・
水制工事

【根固・水制】

- 根固工、水制工、沈床工、捨石工等で、材料の連結又はかみ合わせが適切である。
- 設置間隔、高さ等が設計図書どおりに施工されている。
- 鉄線等での結束では、ゆるみなく緊張していることが確認できる。
- コンクリートブロックの転置、仮置に際し、強度確認を行っている。
- 設置されたブロックに破損や補修痕のないことが確認できる。
- 異形ブロック等、現場製作のものは、型枠搬入時に仮組等を実施し、寸法・歪み・傷等をチェックしている。
- 異形ブロック等の製作で豆板、かけ、型枠の目違いが規定の範囲であることが確認できる。

※ 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ※ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。
 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい	
		50%以下	80%以下	80%を超え	
評価 値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{O}{O} * 100$

= %

評価値

Ver.R0504

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

審査項目	工種	a	b	c	d	e				
Ⅲ 出来 ばえ	護岸・根固・ 水制工事	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		<input type="checkbox"/> 他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。					
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 通りが良い。 ・ 材料のかみ合わせがよい、またはクラックがない。 ・ 天端、端部の仕上げが良い。 ・ 既設構造物とのすりつけが良い。 ・ 隔壁、土台など細部にわたって丁寧な仕上げである。 ・ 全体的な美観が良い。 		※該当5項目以上・・・ a 該当4項目以上・・・ b 該当3項目以上・・・ c 該当2項目以下・・・ d						
<table border="1" style="margin-left: auto;"> <tr> <td>評価項目数</td> <td>評価値</td> </tr> <tr> <td style="width: 50px;"></td> <td style="width: 50px;"></td> </tr> </table>							評価項目数	評価値		
評価項目数	評価値									

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
3.出来形 及び 出来ばえ II 品質	鋼橋工事 (RC床版工事は コンクリート構造物 に準ずる)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価値から判断する。(判断基準参照) 【関連基準, 土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																															
		[評価対象項目] [工場製作関係] ・ 鋼材の員数照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認されている。 ・ 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。 ・ 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 ・ 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 ・ 塗料の品質が出荷証明書、塗料証明書で確認できる。 ・ 塗料前の処理が適切に実施されていることが確認できる。 ・ 仕様書に定められた制限内の気温、湿度の条件下で塗装を行っていることが確認できる。 ・ 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 ・ 放射性透過試験又は超音波探傷試験により溶接箇所の試験結果報告書が作成され、適正に実施されたことが確認できる。 ・ キャンバーが規格どおりに確保されている。 ・ 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ・ 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 ・ 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに作成していることが確認できる。 ・ 欠損部の発生が見られないことが確認できる。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。																															
		[架設関係] ・ ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 ・ ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施している。 ・ 支承の据付で、コンクリート面のチッピング及びモルタル付着が確認でき、仕上げ面に水切勾配がついている。 ・ ボルトの品質がミルシート等で確認できる。 ・ 架設の結果、塗装面を損傷していない。 ・ 現場塗装で塗り残し、むら等がない。 ・ 鋼材の保管にあたり変形及び塗装面に損傷を与えないように適切に管理されている。 ・ トルシアボルトの締め付け完了がピンテールの破断により、目視によって確認できる。 ・ 支承製品の品質が証明書等で確認できる。 ・ 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 ・ 架設にあたって部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 ・ 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。 ・ 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 ・ 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。					上記該当あれば・・・d	上記該当あれば・・・e																															
		※ 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ※ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。					評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{\text{O}}{\text{O}} * 100$ = <input type="text"/> % 評価値 <input type="text"/>																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい 50%以下</th> <th>ばらついている 80%以下</th> <th>ばらつきが大きい 80%を超え</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超え	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
		ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超え																																			
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																		
	75%以上90%未満	a	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

考査項目	工種	a	b	c	d	e			
Ⅲ 出来 ばえ	鋼橋工事 (RC床版工事は コンクリート構造物 に準ずる)	□ 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		□ 他の事項に該当しない	□ 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。				
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 表面に補修箇所がない。 ・ 部材表面に傷、錆がない。 ・ 溶接に均一性がある。 ・ 塗装に均一性がある。 ・ 全体的な美観が良い。 		※該当4項目以上・・・a 該当3項目以上・・・b 該当2項目以上・・・c 該当1項目以下・・・d		<table border="1" data-bbox="1532 643 1771 719"> <tr> <td style="padding: 2px;">評価項目数</td> <td style="padding: 2px;">評価値</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table>	評価項目数	評価値	
評価項目数	評価値								

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II・品質	舗装工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価値から判断する。(判断基準参照) 【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		【評価対象項目】 【路床・路盤工関係】 <ul style="list-style-type: none"> 路床・路盤工のブルフローリングを行っており、沈下等の不具合があった場合は、良質の材料と入れ替えるなどの対策を行っているなどの対策を行っている。 軟弱地盤など路床工にとって不適合なものに対し、対応策が取られている。 材料をおろす位置、方法及び材料の敷均しが適正な方法で行われ、材料分離していない。 路床・路盤工の密度管理が適切に行われている。 材料の品質証明書が整理されている。 掘削面の凹凸を除去し、均一な路床安定処理工が実施されている。 舗装の出来あがりや左右する路盤工が平坦に出来上がっていることが確認できる。 設計図書に基づき、所定の厚さ管理が行われ、かつ品質管理が実施されている。 構造物とのすり付けが適正に実施され、ゆるんだところがない。 設計図書通りの施工に、水溜まりなく、表面仕上げにキャタピラの跡がなく、平坦に仕上がっている。 構造物周辺の締め固め等で、振動ローラー等による入念な施工が実施されている。 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 【アスファルト舗装関係】 <ul style="list-style-type: none"> 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。(アスファルト混合物の事前審査制度の適用工事は除く) 混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 舗設後、直ちに供用する必要がある現場で、交通解放時の温度管理を適切に行っている。 舗装の各層の継目が仕様書に定められた数値以上ずらしていることが確認できる。 目地の処理が仕様書に定められたとおりであることが確認できる。 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業(締め固め等)の配慮が行われている。 乳剤が均一に散布され、第三者への飛散防止対策及び構造物への付着等に細心の注意が払われている。 アスカープの施工において、細やかな配慮がなされ、丁寧に施工されている。 路肩処理、縁端処理の施工において細やかな配慮がなされ、丁寧に施工されている。 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮石などの有害物を除去していることが確認できる。 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 アスファルト混合物の目視による外観検査を随時実施しており、記録に整理されている。 					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば・・・e
<次ページに続く>								

<p>3.出来形及び出来ばえ</p> <p>Ⅱ 品質</p>	<p>舗装工事</p>	<p>【コンクリート舗装関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308以外の生コンを使用する場合） コンクリート打込み時の必要な供試体を採取し、強度、スランプ・空気量等が確認できる。（11） 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打込み時の投入高さ、パイプレータによる締固め、養生方法等を適切に行っている。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場のものであることが確認できる。 コンクリート及びセメントコンクリート製品の使用にあたりアルカリ骨材反応抑制対策の適合を確認している。（高炉B種・C種のセメントを使用したコンクリートの場合は評価対象から除外する） コンクリート打込みまでのチェアー、タンパー等の保管管理が適正であることが確認できる。 コンクリート版の4隅、スリッパー、タンパー等の付近は、分離したコンクリートが集まらないようにしている。 コンクリート舗装の表面は粗面仕上げで、かつ平坦、緻密、堅硬な表面仕上げになっている。 コンクリート舗装の表面仕上げで縦方向に凹凸がない。 目地の隣り合わせの舗装面に段差がない。 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。 <p>※ 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ※ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。</p> <table border="1" data-bbox="510 699 1234 863"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい 50%以下</th> <th>ばらついている 80%以下</th> <th>ばらつきが大きい 80%を超え</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超え	評価値	90%以上	a	a	b	b	75%以上90%未満	a	b	b	b	60%以上75%未満	b	b	c	c	60%未満	b	c	c	c	<p>評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{0}{0} * 100$</p> <p>= <input type="text"/> %</p> <p><input type="text"/></p> <p>評価値</p> <p>Ver.R0504</p>
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																												
		ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超え																													
評価値	90%以上	a	a	b	b																												
	75%以上90%未満	a	b	b	b																												
	60%以上75%未満	b	b	c	c																												
	60%未満	b	c	c	c																												

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

審査項目	工種	a	b	c	d	e		
Ⅲ 出来ばえ	舗装工事	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		<input type="checkbox"/> 他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 舗装の平坦性が良い。 ・ 構造物の通りが良い。 ・ 端部処理が良い。 ・ 構造物へのすりつけ等が良い。 ・ 雨水処理が良い。 ・ 全体的な美観が良い。 		※該当5項目以上・・・a 該当4項目以上・・・b 該当3項目以上・・・c 該当2項目以下・・・d	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価項目数</td> <td style="width: 50%;">評価値</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目数	評価値	
評価項目数	評価値							

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3.出来形 及び 出来ばえ Ⅱ 品質	法面工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価値から判断する。(判断基準参照) 【関連基準, 土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] 【共通】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工基面が平滑に仕上がっている。 ・ 湧水、地表水の処理が適切で侵食、亀裂等がない。 ・ ラス張工は、地山に均等になじむように張られ、浮いているところがないように施工されている。 ・ 金網・ネット等が仕様書の通り施工され、仕上げ面から適正な間隔を保ち固定されている。 ・ 法肩の地山への巻き込みが適正に施工されている。 ・ ネットの設置にあたり法面への固定方法が適切である。 ・ 地山表面の不純物の除去が確実に実施されている。 ・ 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 【種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌試験を実施し、施工に反映している。 ・ ネット等の重ね幅が10cm以上確保されている。 ・ 吹付け厚さが均等である。 ・ 吹付け厚さによって、必要な場合2層以上に分けて施工していることが確認できる。 ・ 跳ね返り材料が適切に処理されている。 ・ 厚さによる2層以上の吹き付けでは、剥離がないことが確認できる。 ・ 種子の品質が適正なことが書類等で確認できる。 ・ 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ・ 金網等の重ね幅が10cm以上確保されている。 ・ 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 ・ 吹付け厚さが均等である。 ・ 吹付け厚さに応じて2層以上に分割していることが確認できる。 ・ 跳ね返り材料が適切に処理されている。 ・ 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 ・ 金網が仕様書の通りに施工され、仕上げ面から適正な間隔を保ち固定されている。 ・ 金網等の設置にあたり、法面への固定方法が適切である。 ・ 水抜きパイプが適切に配置されている。 					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば・・・e

3.出来形
及び
出来ばえ

Ⅱ
・
品質

法面工事

【現場打法枠工関係】

- ・ 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- ・ アンカーの施工長さが確認できる。
- ・ 現場養生が適切に行われていることが確認できる。
- ・ 枠内に空隙がないことが確認できる。
- ・ 層間にはく離がないことが確認できる。
- ・ 跳ね返り材料が適切に処理されている。
- ・ アンカーが確実に固定されている。

【アンカー工】

- ・ ボルトの締付確認が実施され、適切に管理されている。
- ・ ボルトの締付け機、測定機器のキャリブレーションを実施している。
- ・ アンカー施工までの定着具、テンドン等の保管管理が適正である。
- ・ アンカー等の組み立て、加工が適正で損傷、汚れがない。
- ・ グラウト注入のセメントミルクの品質、強度及び充填確認が資料等により確認できる。
- ・ 削孔の位置、削孔長、方向について確認できる記録が管理されている。
- ・ 削孔内の洗浄が適切に施工され、スライムの除去が資料等で確認できる。
- ・ 設計アンカーの耐力確保のためにジャッキの試験成績に基づき、定着荷重の資料が整備されている。
- ・ 材料・製品の品質・規格等がミルシートにより確認できる。

※ 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。

※ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合は○評価とする。

※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超え	
評 価 値	90%以上	a	a	b	b
	75%以上90%未満	a	b	b	b
	60%以上75%未満	b	b	c	c
	60%未満	b	c	c	c

$$\text{評価値} = \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{0}{0} * 100$$

= %

評価値
<input type="text"/>

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

【記入方法】 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

考査項目	工種	a	b	c	d	e		
Ⅲ 出来 ばえ	法面工事	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		<input type="checkbox"/> 他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 構造物の通りが良い。 ・ 植生、吹付け等の状況が均一である。 ・ 端部処理が良い。 ・ 全体的な美観が良い。 ・ アンカーの方向が良い。 ・ アンカーとプレートに隙間がない。 ・ 施工管理記録から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 		※該当6項目以上・・・a 該当5項目以上・・・b 該当4項目以上・・・c 該当3項目以上・・・d	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価項目数</td> <td style="width: 50%;">評価値</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td></td> </tr> </table>		評価項目数	評価値
評価項目数	評価値							

工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表

〔記入方法〕該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ II 品質	コンクリート橋工事 (PC及びRRCを対象)	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価値から判断する。(判断基準参照) 【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。 					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] 【共通】 <ul style="list-style-type: none"> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。(JISA-5308以外の生コンを使用する場合) コンクリート打込み時の必要な供試体を採取し、強度、スランプ・空気量等が確認できる。(II) 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打込み時の投入高さ、パイプレーターによる締固め、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) 型枠、支保工の組立が適切で、コンクリート打込み後、取り外し時期がコンクリート強度等で適正に管理されている。 鉄筋の規格・引張強度・曲げ強度の試験値をミルシート等で確認できる。 コンクリート打込みまでの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 鉄筋の圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 鉄筋の重ね合わせ長が、設計書どおりであることが確認できる。 コンクリート打込み時に雨水やわき水が適切に処理されている。 コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場のものであることが確認できる。 コンクリートの打ち直しや補修の痕跡がない。 コンクリート打込み前に打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 コンクリート及びセメントコンクリート製品の使用にあたりアルカリ骨材反応抑制対策の適合を確認している。(高炉B種・C種のセメントを使用したコンクリートの場合は評価対象から除外する。) コンクリート打込み前に単位水量試験または水セメント比試験を実施している。(平成26年8月19日付技第1019号) 微破壊・非破壊によるコンクリート強度測定を実施している。(橋長30m以上橋梁) (平成31年2月15日付技第1035号) 非破壊試験による配筋状態及びかぶり測定を行っている。(平成31年2月15日付技第1035号) ひび割れ発生状況調査を実施している。(土木コンクリート構造物の品質確保における品質確認調査方法、適用範囲1) ひび割れ有無の調査を実施し報告している。 (土木コンクリート構造物の品質確保における品質確認調査方法、適用範囲2) 有害なクラックが無い。 新潟県コンクリート品質確保ガイドライン(案)に基づく取組を達成した。(加対象構造物以外は項目削除) 【製作関係】 <ul style="list-style-type: none"> 製品の員数をはじめ規格の照合がミルシート等(現場照合を含む)で確認できる。 作業実施前に装置(機器)のキャリブレーションが実施されている。 スペーサーの材料が適正で、品質が確認できる。 プレビューム桁プレクシオンで適正に実施されている。 緊張及びグラウト管理が適切に管理されている。 プレストレッシング時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる。 【架設関係】 <ul style="list-style-type: none"> 支承の据付で、コンクリート面のチッピング及びモルタルでの付着が確認でき、仕上げ面に水切り勾配がついている。 ※ 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ※ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。
							上記該当あれば・・・d	上記該当あれば・・・e
							評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{\text{O}}{\text{O}} * 100$ = <input type="text"/> % 評価値 <input type="text"/>	

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超え	
評価値	90%以上	a	a	b	b
	75%以上90%未満	a	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

審査項目	工種	a	b	c	d	e				
Ⅲ 出来ばえ	コンクリート橋 工事 (PC及びRC を対象)	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		<input type="checkbox"/> 他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。					
		<ul style="list-style-type: none"> ・ コンクリート構造物の肌が良い。 ・ コンクリート構造物の通りが良い。 ・ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 ・ 支承部の仕上げが良い。 ・ クラックがない。 ・ 漏水がない。 ・ 全体的な美観が良い。 		※該当6項目以上・・・ a 該当5項目以上・・・ b 該当4項目以上・・・ c 該当3項目以下・・・ d						
				<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px;">評価項目数</td> <td style="padding: 2px;">評価値</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table>		評価項目数	評価値			
評価項目数	評価値									

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3.出来形 及び 出来ばえ II 品質	塗装工事 (工場塗装を除く)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価値から判断する。(判断基準参照) 【関連基準, 土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] ・ 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む) ・ ケレンが入念に実施されていることが確認できる。 ・ 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理・記録されており、適正な気象条件下で塗装をしている。 ・ 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料沈殿がしていないことが確認できる。 ・ 塗料に有害な付着物が無い。 ・ 塗料の空缶管理が、写真等で確実に確認できる。 ・ 上向きなど塗装しにくいところが入念に施工されている。 ・ 締め付けボルト、橋台と桁の間、及び隅の所で塗り残しがない。 ・ 仮設足場の跡などの塗り残し、色違いの塗装のないことが確認できる。 ・ 塗膜の表面に気泡、へこみがないことが確認できる。 ・ 設計図書に示された数量が、使用前後で資料により確認できる。 ・ 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。
							上記該当あれば・・・d	上記該当あれば・・・e
							評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{O}{O} * 100$ = <input type="text"/> % 評価値 <input type="text"/>	

- ※ 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ※ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。
- ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超え	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

考査項目	工種	a	b	c	d	e				
Ⅲ 出来ばえ	塗装工事 (工場塗装を除く)	□ 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		□ 他の事項に該当しない	□ 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塗装の均一性が良い。 ・ 細部まできめ細かな施工がされている。 ・ 補修箇所がない。 ・ 全体的な美観が良い。 		※該当3項目以上・・・ a 該当2項目以上・・・ b 該当1項目以上・・・ c 該当項目なし・・・ d							
<table border="1" style="margin-left: auto;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価項目数</td> <td style="width: 50px;">評価値</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table>							評価項目数	評価値		
評価項目数	評価値									

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ II 品質	公園・植栽工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価値から判断する。(判断基準参照) 【関連基準, 土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		【評価対象項目】 【共通】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料の規格、品質が適正であり、証明書等が整備されている。 ・ 路床・路盤工のブルーフローリングを行っている。 ・ 石積み、二次製品側溝等の材料のかみ合わせ又は連結が適正で、裏込め材料等の沈下、崩壊又は漏水のおそれがない。 ・ 雨水等のたん水が生じないように排水対策を実施している。 ・ 盛土材の品質、形状が設計図書に基づくものになっている。 ・ 締固めを適切な条件で施工している。 【舗装工・表層工】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計図書に基づく混合物は、配合報告書により適切な配合規格が確認できる。 ・ クレー(混合土)表層材料の混合が入念に行われ、品質が均一であることが書類等で確認できる。 ・ 平板、レンガ、タイル舗装等の目ずれがなく、共通仕様書等に定められたとおり処理されていることが確認できる。 ・ 排水勾配が適正に守られ、水溜まりが生じていない。 【植栽工】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し施工に反映している。 ・ 活着管理が適正に行われている。 ・ 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく保護養生が適切になされている。 ・ 樹木等の生育に害のあるものは除去されている。 ・ 余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。 ・ 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥されている。 ・ 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 ・ 土壌改良においては、設計に基づく改良深さ、改良材の添加量が確保され、均一に混合されている。 ・ 日焼け、病害虫を防止するため根巻きなどが適切に行われている。 ・ 支柱を、全体的な美観を考慮し、緩みなく堅固に設置している。 ・ 添木をくらつかせないよう設置していることが確認できる。 ・ 鳥居は、全体的な美観を考慮して、高さ、方向など統一されて施工されている。 ・ 高木は、バランスよく支線が張られ、緩みなく施工されている。 ・ 樹木・地被類、つる性植物等には樹幹のわれ、病害虫などないことが確認できる。 ・ 現場に搬入された芝は、速やかに植え付けられ、枯死しないように養生されている。 ・ 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 【付帯設備工】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 製品・機器の機能、性能が確認でき、満足している。 ・ 地下埋設物が設計図書に基づき適正に施工されており、記録により確認できる。 ・ 遊戯施設等の構造物の設置では、ひずみ、歪み、ふれがないように、堅固に基礎に取り付けられている。 ※ 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ※ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。
						上記該当あれば・・・d	上記該当あれば・・・e	
							評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{0}{0} * 100$ = <input type="text"/> % 評価値 <input type="text"/>	

評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能
	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい		
	50%以下	80%以下	80%を超え		
90%以上	a	a'	b	b	
75%以上90%未満	a	b	b'	b'	
60%以上75%未満	b	b'	c	c	
60%未満	b'	c	c	c	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

考査項目	工種	a	b	c	d	e		
Ⅲ 出来 ばえ	公園・植栽工事	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		<input type="checkbox"/> 他の事項に該当しない		<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 ・ 支柱の取り付けが堅固である。 ・ 樹木の活着状況が良い ・ 通りが良い。 ・ 既設構造物等とのすりつけが良い ・ きめ細かな施工がなされている。 ・ 全体的な美観が良い。 		※該当6項目以上・・・ a 該当5項目以上・・・ b 該当4項目以上・・・ c 該当3項目以下・・・ d		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>評価項目数</td> <td>評価値</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table>	評価項目数	評価値
評価項目数	評価値							

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3.出来形 及び 出来ばえ Ⅱ ・ 品質	防護柵(網) 視線誘導標 標識・照明灯 区画線等設置工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価値から判断する。(判断基準参照) 【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		【評価対象項目】 【共通】 <ul style="list-style-type: none"> ・ ボルトは資材に対し直角に通り、緩みなく締め付けが十分であることが確認できる。 ・ シールは位置、高さなどの点で適正に貼られ、しわが寄っていない。 ・ 防護柵の設置基準、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 【防護柵】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 製品の損傷、キズ、へこみなどが無いことが確認できる。 ・ 防護柵は、垂直に立ち、規格通りの高さに設置され、道路の路側構造物との位置関係が図られている。 ・ 連結するボルト等にゆるみがない。 ・ 支柱とレール、及びロープにゆがみがない。 ・ ケーブル型防護柵の曲線部では、支柱がケーブル張力によって傾かないように施工されている。 ・ 支柱を打ち込む場合は、地盤をゆるめないように注意して施工され、また穴を掘って立て込む場合は、十分に突き固めて埋め戻しされている。 ・ 支柱を支える基礎は、規格とおりにできあがり、高さ、位置は設計図書に適合することが確認できる。 ・ 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 ・ ガードケーブル支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。 ・ ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打込みしたコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 【視線誘導標・道路標識】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 製品の損傷、キズ、へこみなどが無いことが確認できる。 ・ 視線誘導標、道路標識は、垂直に立ち、規格通りの高さに設置され、道路の路側構造物との位置関係が図られている。 ・ 色彩・反射性能を試験結果報告書などで確認できる。 ・ 構造物強度・地耐力の確認ができる。 ・ 視線誘導標の反射器の角度が適切である。 ・ 視線誘導標の支柱が沈下するおそれがないよう十分突き固められている。 ・ コンクリート基礎の施工では、周囲の締め固めが十分に行われている。 ・ 支柱を支える基礎は、規格とおりにできあがり、高さ、位置が設計図書により確認できる。 ・ 視線誘導標は反射器の角度が変わることの無いよう、土中、コンクリート建込式とも固定されている。 【区画線】 <ul style="list-style-type: none"> ・ ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が10%以下である。 ・ 塗料の空き缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 ・ 施工時の気象条件を考慮し、施工がなされていることが確認できる。 ・ 施工前に路面を清掃した上で、乾燥後に施工されている。 ・ 熔融式区画線の施工では熔融槽を適温に管理している。 ・ 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 ・ プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 ・ 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。
							上記該当あれば・・・d	上記該当あれば・・・e

<p>3.出来形 及び 出来ばえ</p> <p>Ⅱ ・ 品 質</p>	<p>防護柵（網） 視線誘導標 標識・照明灯 区画線等設置工事</p>	<p>【照明灯】</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品の損傷、キズ、へこみなどがないことが確認できる。 照明灯は、垂直に立ち、規格とおりの高さに設置され、道路の路側構造物との位置関係が適正である。 設計図書に明示以外は、照明灯の方向は、道路法線に直角に対象形になっている。 構造物強度・地耐力の確認ができる。 基礎の周囲の締め固めが十分に行われている。 支柱を支える基礎は、規格とおりにできあがり、高さ、位置が設計図書により確認できる。 <p>※ 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ※ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。</p> <table border="1" data-bbox="510 472 1232 639"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="3"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="3">ばらつきで 判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超え</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評 価 値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい	50%以下	80%以下	80%を超え	評 価 値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{0}{0} * 100$</p> <p>= <input type="text"/> %</p> <p><input type="text"/></p> <p>評価値</p> <p>Ver.R0504</p>
		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能																															
		ばらつきが小さい				ばらついている	ばらつきが大きい																													
		50%以下	80%以下	80%を超え																																
評 価 値	90%以上	a	a'	b	b																															
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
	60%未満	b'	c	c	c																															

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

考査項目	工種	a	b	c	d	e				
Ⅲ・ 出来ばえ	防護柵（網）工事	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		<input type="checkbox"/> 他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。					
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 通りが良い。 ・ 端部処理が良い。 ・ 部材表面に傷、錆がない。 ・ 既設構造物等とのすりつけが良い ・ きめ細かな施工がなされている。 ・ 全体的な美観が良い。 		※該当5項目以上・・・a 該当4項目以上・・・b 該当3項目以上・・・c 該当2項目以下・・・d	<table border="1"> <tr> <td>評価項目数</td> <td>評価値</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目数	評価値			
	評価項目数	評価値								
標識工事（視線誘導標・照明灯も含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置位置に配慮がある。 ・ 標識の向き、角度、支柱のとおりが良い。 ・ 標識板、支柱に変色がない。 ・ 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。 ・ 全体的な美観が良い。 		※該当4項目以上・・・a 該当3項目以上・・・b 該当2項目以上・・・c 該当1項目以下・・・d	<table border="1"> <tr> <td>評価項目数</td> <td>評価値</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目数	評価値				
評価項目数	評価値									
区画線工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塗料の塗布が均一である。 ・ 視認性が良い。 ・ 接着状態が良い。 ・ 施工前の清掃が入念に実施されている。 ・ 全体的な美観が良い。 		※該当4項目以上・・・a 該当3項目以上・・・b 該当2項目以上・・・c 該当1項目以下・・・d	<table border="1"> <tr> <td>評価項目数</td> <td>評価値</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目数	評価値				
評価項目数	評価値									

工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3.出来形及び出来ばえ II 品質	道路工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価値から判断する。(判断基準参照) 【関連基準, 土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																													
		[評価対象項目] 【共通】 <ul style="list-style-type: none"> • できあがりの平坦性が確保されている。 • 排水勾配が適正にセットされ、水溜まりが生じていない。 • 乗り入れ箇所などの接合部がスムーズに取り付けられている。 • 歩車道境界ブロックなどの製品物の並びがきれいに通っている。 • 付属構造物との接合部など、路盤面にたわみがない。 • 路体盛土の施工前に段切り等を適切に行われている。 • 路体盛土の締固めが適切な条件で施工されている。 • 路体盛土の密度管理が適切に行われている。 【路床・路盤・路床安定処理】 <ul style="list-style-type: none"> • 路床・路盤工のブルーローリングを行っており、沈下等の不具合があった場合は、良質な材料で入れ替える等の対策を行っている。 • 材料をおろす位置、方法及び材料の敷均しが適正な方法で行われ、材料分離していない。 • 構造物周辺の締固め等が適切に行われている。 • 路床・路盤工の密度管理が適切に行われている。 • 材料の品質証明書が整理されている。 • 路盤材に不適な混合物の混入防止が図られ、混入のないことが確認できる。 • 路床・路盤が均一に仕上げられていることが確認できる。 • 軟弱地盤などの地盤改良が試験結果に基づき適正に行われていることが確認できる。 • 固化材は、数量をはじめ、安全性が確認できる品質証明が整理されている。 • 固化材の添加量とCBRの関係から目標とするCBRに対応する添加量を求めている。 • mあたり又は1袋あたりの固化材の散布量が確認できる。 • 処理前の軟弱路床土は湿地ブルドーザーで所定の高さに整正している。 • バケットクレーン、ライムスプレッダ、人力等で固化材を所定量均一に散布している。 • 散布及び混合に際して粉塵対策を施す必要がある場合は、防塵型の安定材を用いたり、シートの設置などの対策をとっている。 • 所定の深さまで混合攪拌したことが確認できる(フェノール液で確認) • グレーダー又はブルドーザー等で表面整正を行っている。 • 六価クロム溶脱に対する確認が実施され、本工事が実施されている。 ※ 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ※ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。																													
							上記該当あれば・・・d	上記該当あれば・・・e																													
							評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{0}{0} * 100$ = <input type="text"/> % 評価値 <input type="text"/>																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																	
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																
	75%以上90%未満	a	b	b'	b'																																
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
	60%未満	b'	c	c	c																																

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

考査項目	工種	a	b	c	d	e				
Ⅲ 出来 ばえ	道路工事	□ 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		□ 他の事項に該当しない	□ 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小構造物等にも細心の注意が払われている。 ・ 仕上げが良い。 ・ 通りが良い。 ・ 端部処理が良い。 ・ 既設構造物へのすりつけ等が良い。 ・ 全体的な美観が良い。 		※該当5項目以上・・・a 該当4項目以上・・・b 該当3項目以上・・・c 該当2項目以下・・・d							
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px;">評価項目数</td> <td style="padding: 2px;">評価値</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table>							評価項目数	評価値		
評価項目数	評価値									

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
3.出来形及び出来ばえ II 品質	歩道工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価値から判断する。(判断基準参照) 【関連基準, 土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																															
		[評価対象項目] [土工] ・ 掘削を行うにあたり路床以下を乱さないように施工していることが確認できる。 ・ 締め固めを適正な条件で施工していることが確認できる。 [路盤・舗装工] ・ 表面排水が良好である。 ・ アスファルト舗装の現場密度、舗設温度等の品質管理が適切に行われている。 ・ 段差解消などバリアフリー対策として舗装の平坦性が確保されている。 ・ 路盤工の密度管理が適正に実施されている。 ・ 材料の品質証明書が整理されている。 ・ 構造物周辺の締め固めが適切に実施されている。 [付属構造物等] ・ コンクリート側溝が平坦に仕上げられ、蓋の収まりが良く、ガタツキがない。 ・ 付属構造物・製品等の規格、品質、性能等が成績証明書で確認できる。 ・ 排水勾配が適正にセットされ、水溜まりが生じていない。 ・ 付属構造物との接合部などで、舗装面のたわみがない。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば・・・e																															
		※ 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ※ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。					評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{0}{0} * 100$ = <input type="text"/> % <input type="text"/> 評価値																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
		ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																			
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																		
	75%以上90%未満	a	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

考査項目	工種	a	b	c	d	e			
Ⅲ 出来 ばえ	歩道工事	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		<input type="checkbox"/> 他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小構造物等にも細心の注意が払われている。 ・ 仕上げが良い。 ・ 通りが良い。 ・ 端部処理が良い。 ・ 既設構造物へのすりつけ等が良い。 ・ 全体的な美観が良い。 		※該当5項目以上・・・a 該当4項目以上・・・b 該当3項目以上・・・c 該当2項目以下・・・d		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px;">評価項目数</td> <td style="padding: 2px;">評価値</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table>		評価項目数	評価値	
評価項目数	評価値								

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3.出来形 及び 出来ばえ II ・ 品質	消雪工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価値から判断する。(判断基準参照) 【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		【評価対象項目】 【削井工・取水施設工】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料の品質規格証明書等が整備されている。 ・ 設計図書に示められたとおりにストレーナーの位置が正確に設置されている。 ・ ケーシングパイプの挿入に壁面の崩壊がないことが確認できる。 ・ 充填材に均一な砂利が使われている。 ・ 井戸が鉛直であることが確認できる。 ・ 揚水試験を適切に行い、施工に反映している。 ・ 削井完了後、電気検層により記録が適正に管理されている。 ・ ポンプの据え付け位置が適切である。 ・ 電気設備及びポンプが正常に稼動することが確認できる。 ・ 機器の性能・機能が設計図書どおりであることが確認できる。 ・ 製造者による試験等が的確に行われ、設計図書に適合する証明書が整備されている。 ・ 施工の品質・形状が的確で良好な施工である。 ・ 機器の適切性が確認でき、試験運転の記録が確認できる。 ・ 不可視部分が写真等の資料から適切に施工されたことが確認できる。 【散水工】 <ul style="list-style-type: none"> ・ コンクリート二次製品の場合は、損傷のないもので、品質、規格が証明書により確認できる。 ・ アスファルトカッターによる舗装切断は、慎重な施工によるやり直しがないことが確認できる。 ・ 掘削面以下を乱さないように入念に施工され、施工基面が平坦に仕上げられている。 ・ 補修痕等がなく、施工方法が適正に行われたことが工事中写真等の記録により確認できる。 ・ ノズルのコンクリート面が平坦に仕上げられ、孔の位置が流動方向を考慮して適切に設置されている。 ・ 既設構造物との取り合い、及び曲線部の施工が適切に行われている。 ・ 鉄筋及びコンクリートの施工が適切に行われている。 ・ 二次製品は、ブロックの接合でねじれがなく、滑らかで、かつ適切な隙間間隔で施工されていることが確認できる。 ・ 現場打ちのノズル位置が適正に設置されていることが確認できる。 ・ 二次製品の設置後の埋め戻しは、締め固めに注意が払われ、適切に行われ、沈下の状況がなく、隣接ブロックと滑らかである。 ※ 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ※ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば・・・e
							評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{\text{O}}{\text{O}} * 100$ = <input type="text"/> % <input type="text"/> 評価値	

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超え	
評価値	90%以上	a	a'	b	b'
	75%以上90%未満	a	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

考査項目	工種	a	b	c	d	e		
Ⅲ 出来ばえ	消雪工事	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		<input type="checkbox"/> 他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。			
		<ul style="list-style-type: none"> • 仕上げが良い。 • 通りが良い。 • 端部処理が良い。 • 既設構造物へのすりつけ等が良い。 • 全体的な美観が良い。 • 均等に水がまわる。 • 使用者に対する安全及び環境の配慮が適切である。 • 運転及び保守点検に対する配慮が適切である。 		※該当7項目以上・・・a 該当6項目以上・・・b 該当5項目以上・・・c 該当4項目以下・・・d	<table border="1" data-bbox="1532 683 1771 762"> <tr> <td>評価項目数</td> <td>評価値</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	評価項目数	評価値	
評価項目数	評価値							

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

【記入方法】該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3.出来形 及び 出来ばえ II 品質	下水道工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価値から判断する。(判断基準参照) 【関連基準, 土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		【評価対象項目】 【共通】 <ul style="list-style-type: none"> マンホールにおいて出来形管理基準を満足し、連結部には止水シール、止水ゴムが適切に設置されている。 インパートは形状、勾配等が適正で漏水がない。 防食被覆が入念に実施され、かつ表面が滑らかである。 マンホールにおいて各部材にクラック等がなく、漏水がない。 マンホールの足掛金具の位置、方向等が適正で、鉄蓋位置については、ガタツキがなく仕上がり、天端高さも適正である。 材料の品質規格証明書等が整備されている。 出来形管理基準を満足しており、目立った屈曲や沈下がない。 管渠において漏水箇所がなく、影響を与えるクラックや変形がない。 管渠継ぎ手部及びマンホール連結部の目地仕上げが良好である。 不可視部分が写真等の資料から適正に施工されていたことが確認できる。 マンホール用品の規格・品質がミルシートで確認できる。 管渠の規格・品質がミルシートで確認できる。 【開削工】 <ul style="list-style-type: none"> 管渠継ぎ手部ボルトの締付確認が実施され、適正に記録が管理されている。 置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工している。 埋め戻しにおいて締め目が適正な方法で施工されており、工事終了後に沈下がない。 混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 管渠の接合状況が良好であることが確認できる。 管の周辺に空隙、ゆるみがない。 【推進工】 <ul style="list-style-type: none"> 防食被覆が入念に施工されていることが確認できる。 管底に水がたまった形跡がない。 薬液注入工において削孔・注入の状況及び効果が管理資料から確認できる。 排水処理工において送排泥管の流量測定記録、逸水の管理が適正に実施されていることが確認できる。 測量及び観測結果を毎日整理し、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。 常に切羽及び地表面の状態を観測して施工されていることが確認できる。 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。 ※ 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ※ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。
							上記該当あれば・・・d	上記該当あれば・・・e
							評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} \times 100 = \frac{\text{O}}{\text{O}} \times 100$ = <input type="text"/> % 評価値 <input type="text"/>	

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超え	
評価値	90%以上	a	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e				
Ⅲ 出来 ばえ	下水道工事	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。	<input type="checkbox"/> 他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。		<table border="1"> <tr> <th>評価項目数</th> <th>評価値</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	評価項目数	評価値		
		評価項目数	評価値							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 通りが良い。 ・ 漏水がない。 ・ クラックがない。 ・ マンホールのインパートの仕上げが良い。 ・ マンホール天端と路面のすり付けが良い。 ・ 埋め戻し後の路面復旧の状態が良い。 ・ 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 ・ 端部処理が良い。 <p style="text-align: right;">※該当7項目以上・・・ a 該当6項目以上・・・ b 該当5項目以上・・・ c 該当4項目以下・・・ d</p>										

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																									
3.出来形及び出来ばえ Ⅱ・品質	ガス・水道工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価値から判断する。(判断基準参照) 【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																									
		【評価対象項目】 【共通】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用材料は、使用材料承認願で承認品と確認できる。 ・ 管の接合の合否は、溶接確認表・継手チェックシート等により確認できる。 ・ 他埋設物との隔離や防護が要領書のとおり行われていることが確認できる。 ・ 管内清掃を適切に施工している。 ・ 防食工及び絶縁処理工を適切に施工している。 ・ 管材料の取扱いや保管管理が適切であることが確認できる。 ・ 曲げ半径や異形管・継手等の設置、配管状況が写真や確認表で確認できる。 ・ コンクリート構造物工事の品質を満足している。 【ガス工事】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 耐圧・気密試験の合否は、試験チャートで確認できる。 ・ 遮断弁、水取り器、電気防食等の付属設備の設置が適切に行われている。 ・ 管表示・マーカ等を適切に施工している。 【水道工事】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水圧テストの合格は、水圧試験結果表で確認できる。 ・ ポリエチレンスリーブ被覆工及び管表示・マーカ等を適切に施工している。 【開削工】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山留工、支保工を適正に施工している。 ・ 掘削面以下を乱さないように施工している。 ・ 施工基面及び管床（床砂の施工面）が平滑に仕上げられている。 ・ 埋め戻し、締めめを適切な条件で施工している。 ・ 路床・路盤工のブルーフローリングを行っており、沈下等の不具合があった場合は、良質の材料と入れ替えるなどの対策を行っている。 ・ 路床・路盤・表層工の密度管理が適切に行われている。 ・ 混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 ・ 設計図書通りの施工に、水溜まりなく、表面仕上げにカタビラの跡がなく、平坦に仕上がっている。 ※ 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ※ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が修補（手直し）指示を行った。 上記該当あれば・・・e																									
							評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{0}{0} * 100$ = <input type="text"/> % 評価値 <input type="text"/>																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい 50%以下</th> <th>ばらついている 80%以下</th> <th>ばらつきが大きい 80%を超え</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超え	評価値	90%以上	a	b	b	75%以上90%未満	a'	b'	b'	60%以上75%未満	b	c	c	60%未満	b'	c	c			
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																													
	ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超え																														
評価値	90%以上	a	b	b																													
	75%以上90%未満	a'	b'	b'																													
	60%以上75%未満	b	c	c																													
	60%未満	b'	c	c																													

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

考査項目	工種	a	b	c	d	e			
Ⅲ 出来ばえ	ガス・水道工事	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		<input type="checkbox"/> 他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。				
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 弁筐や覆蓋等の据付高さが適切で違和感がない。 ・ 弁柱類の設置位置が適切である。 ・ 施工図は適切に作成され、見やすく誤差がなく、現地に適合している。 ・ コンクリート構造物は、きめ細かな施工がされている。 ・ 資料から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 ・ 舗装復旧等が現地状況を十分把握して施工されており、既設部分との取合いがよい。 ・ 全体的な美観が良い。 		※該当6項目以上・・・a 該当5項目以上・・・b 該当4項目以上・・・c 該当3項目以下・・・d		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px;">評価項目数</td> <td style="padding: 2px;">評価値</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table>	評価項目数	評価値	
評価項目数	評価値								

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																					
3.出来形及び出来ばえ II ・ 品質	電気設備工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価値から判断する。(判断基準参照) 【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																																					
		[評価対象項目] ・ 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 ・ 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 ・ 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 ・ 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 ・ 施工の品質が、適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 ・ 施工の品質が、試験や検査等の結果により、優れていることが確認できる。 ・ システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 ・ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 ・ 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 ・ 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば・・・e																																					
		※ 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ※ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。					評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} \times 100 = \frac{\text{○}}{\text{○}} \times 100$ = <input type="text"/> % 評価値 <input type="text"/>																																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超え</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい			50%以下	80%以下	80%を超え		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																								
		ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																									
		50%以下	80%以下	80%を超え																																									
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																								
	75%以上90%未満	a	b	b'	b'																																								
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																								
	60%未満	b'	c	c	c																																								

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

審査項目	工種	a	b	c	d	e
Ⅲ 出来ばえ	電気設備工事	□ 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		□ 他の事項に該当しない	□ 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ きめ細かな施工がなされている。 ・ 関連工事（工種）又は既存部分との調整がなされ、全体に調和が良い仕上がりである ・ 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 ・ 環境負荷低減への対策が優れている。 ・ 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 		<ul style="list-style-type: none"> ※該当4項目以上・・・a 該当3項目以上・・・b 該当2項目以上・・・c 該当1項目以下・・・d 		

評価項目数	評価値

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																		
3.出来形 及び 出来ばえ II ・ 品質	機械設備工事 ・用排水ポンプ ・鋼製付属設備	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価値から判断する。(判断基準参照) 【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																																		
		[評価対象項目] ・ 品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が十分実施され、内容が確認できる。 ・ 材料の品質証明がミルシート等(現場照合を含む)で確認でき、満足している。 ・ 部品の品質、性能が証明書等で確認でき、満足している。 ・ 機器の品質、機能、性能が成績書等で確認でき、満足している。 ・ 溶接管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 ・ 塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 ・ 製品の機能、性能管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 ・ 操作制御関係が、所定の機能を有しているとともに、必要な安全装置、保護装置の機能が確認でき、満足している。 ・ 設備の総合性能が設計図書とおり確保され、内容が確認でき、満足している。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。																																		
							上記該当あれば・・・d	上記該当あれば・・・e																																		
							評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{0}{0} * 100$ = <input type="text"/> % 評価値 <input type="text"/>																																			
		※ 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ※ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超え</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい		50%以下	80%以下	80%を超え		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																						
	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																							
	50%以下	80%以下	80%を超え																																							
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																					
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																					
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																					
	60%未満	b'	c	c	c																																					

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

審査項目	工種	a	b	c	d	e				
Ⅲ 出来ばえ	機械設備工事 ・用排水ポンプ ・鋼製付属設備	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		<input type="checkbox"/> 他の事項に該当しない		<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。				
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕上がり状態が良く、全体的な美観に優れている。 ・ 主設備、関連設備、操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が優れている。 ・ 異常な振動、騒音が無く、動きもスムーズで、総合的な機能運転性能が優れている。 ・ 公共物としての安全、環境、維持管理への配慮が良い。 ・ 溶接、塗装、組立て等細部に渡る配慮が良い。 		※該当4項目以上・・・a 該当3項目以上・・・b 該当2項目以上・・・c 該当1項目以下・・・d						
						<table border="1"> <tr> <td>評価項目数</td> <td>評価値</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目数	評価値		
評価項目数	評価値									

工事成績採点の検査項目の検査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3.出来形及び出来ばえ Ⅱ・品質	維持修繕工事又はその他工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価値から判断する。(判断基準参照) 【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																														
		[評価対象項目] ・ 検査項目記述 () ・ 検査項目記述 () ・ 検査項目記述 () ・ 検査項目記述 () ・ 検査項目記述 () ・ 検査項目記述 () ・ 検査項目記述 () ・ 検査項目記述 () ・ 検査項目記述 () ・ 検査項目記述 () ・ 検査項目記述 ()					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば・・・e																														
		※ ただし、ばらつきが少なく(規格値を満足)該当項目が3項目以下の場合は・・・・c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。					評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} \times 100 = \frac{\text{○}}{\text{○}} \times 100$ = <input type="text"/> % 評価値 <input type="text"/>																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい 50%以下</th> <th>ばらついている 80%以下</th> <th>ばらつきが大きい 80%を超え</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超え	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
	ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超え																																			
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の「・」に○、×マーク、□に☑マークを記入する。

(検査員)

審査項目	工種	a	b	c	d	e			
Ⅲ 出来ばえ	維持修繕工事又は その他工事	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		<input type="checkbox"/> 他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。				
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () 		※該当4項目以上・・・a 該当3項目以上・・・b 該当2項目以上・・・c 該当1項目以下・・・d	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px;">評価項目数</td> <td style="padding: 2px;">評価値</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table>			評価項目数	評価値
評価項目数	評価値								